

沖縄健康寿命講座

～内科疾患としての骨粗鬆症治療に挑む！～

【日本医師会生涯教育講座指定講座2単位（カリキュラムコード：11、73、76、77）申請中

【日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会】申請中

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は弊社製品に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度「内科疾患と骨粗鬆症」をテーマに下記の要領にて特別講演会を開催する運びとなりました。近年、日本において100万人もの患者がいるとされるステロイド性骨粗鬆症に関し、ガイドラインの浸透とともに内科疾患としての認識が高まりつつあると考えられます。しかしながら、骨粗鬆症全体で1100万人～1300万人の潜在患者がいるとされる中、いまだ治療がなされているのは200万人程度とのデータもあり、欧米諸国と比べ治療率が半分以下という現状もあります。

そこで、今回はステロイド性骨粗鬆症の最新情報に加え、骨粗鬆症の大きなリスクファクターと考えられる糖尿病との関連について最新の知見に触れる機会をご用意しました。ご参加の先生方にとりまして、日常診療ですぐに役立つ最新の話題をご提供できると考えております。

つきましてご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席を賜りますようご案内申し上げます。 謹白

記

【日時】2010年8月5日（木）19:00～21:15 【会場】ナハテラス「アダン」

PROGRAM

I. 情報提供 『骨粗鬆症治療薬 アレンドロネートについて』

II. 特別講演

1. 座長 豊見城中央病院 院長 潮平 芳樹 先生

『ステロイド骨粗しょう症の病態と治療戦略
～骨折予防を目指して～』

演者 産業医科大学 第一内科学講座 講師 岡田 洋右 先生

2. 座長 琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座

(第二内科) 教授 益崎 裕章 先生

『生活習慣病と骨粗鬆症の接点－糖尿病を中心に』

演者 島根大学医学部 第一内科 教授 杉本 利嗣 先生

III. ディスカッション

「内分泌疾患としての骨粗鬆症に内科医が如何に関与すべきか」

※当日は懇親会の場を設けております。

※先生ご自身の交通費を、弊社にて実費負担させて頂く場合がございます。その際は弊社より、ご施設のルールに則り、個別にご相談させていただきますので宜しくお願い致します。

共催：万有製薬株式会社 / シェリングプラウ株式会社